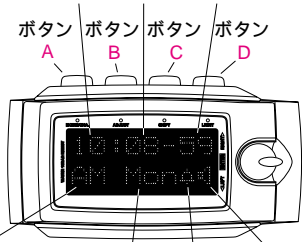


時刻とカレンダーの合わせかた

(1) ボタンの名称とはたらき



- ボタン操作説明
- ・ボタンA: 時刻・カレンダーモードへの切り替え
 - ・ボタンB: 横/縦表示への切り替え
 - ・ボタンC: 時刻・カレンダー表示の呼び出し/解除
 - ・ボタンD: 時刻と操作確認音のセットと解除
 - ・ボタンE: 内部照明の点灯
 - ・ボタンE: 修正箇所の選択
- 「時刻・カレンダー表示」のとき、ボタンEを押すと、メッセージを表示します。左または右にまわすと、カレンダーを表示します。

AM/PM (12時間制の場合に 曜 報時マーク アラームマーク表示します。)

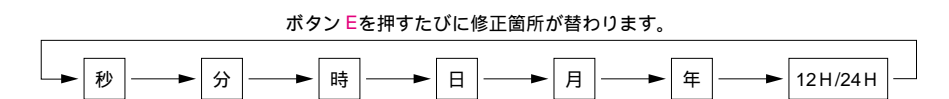
- (2) メッセージ表示の動作
- 「時刻・カレンダーモード」のとき、ボタンEを押した場合、メッセージを表示し、3回スクロールします。
 - ユーザーメッセージがある場合、ユーザーメッセージのみ表示します。
 - ユーザーメッセージがない場合、ボタンEを押す毎にランダムメッセージを表示します。
 - 「時刻・カレンダーモード」のとき、時刻表示の10分単位でメッセージを表示し、3回スクロールします。
 - AM12時0分 10分 20分 30分 ... PM1時40分 50分と24時間表示します。
 - ユーザーメッセージがある場合、ユーザーメッセージのみ表示します。
 - ユーザーメッセージがない場合、ランダムメッセージを表示します。ランダムメッセージの種類は、あいさつ・ことわざ等です。
- なお、1月1日、12月25日にはそれぞれ「A Happy new year.」/「Merry Xmas!」とあいさつ関係のメッセージを表示します。メッセージ表示中にボタンBを押すと、メッセージ表示を解除して通常表示になります。メッセージ表示中にボタンEを押すと、右にまわすと、カレンダー表示になり通常表示に戻ります。

(3) 時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード」状態にしてください。

ボタンBを2~3秒間押し続けると、横表示しているときは、一度縦表示をし、横表示にもどり(縦表示のときは、一度横表示をし、縦表示にもどり)「秒」が点滅して、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。ボタンEを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部)を選びることができます。

年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。



ボタンEを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンEを、左または右にまわすと「00」に合います。秒表示が30・50秒のとき、ボタンEを、左または、右にまわすと1分繰り上がり「00」に合います。時刻合わせは、電話の時報サービス(TEL117)が便利です。

合わせたいところを点滅させたあと、ボタンEを右に1回まわすごとに点滅している数字が1つずつ進みます。また、左に1回まわすごとに点滅している数字が1つずつ戻ります。「(秒)」「12H/24H」を除く。

ボタンEを左または、右にまわし止めると、早送りできます。

「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2~3分後には「時刻・カレンダーモード」へ自動的にもどります。

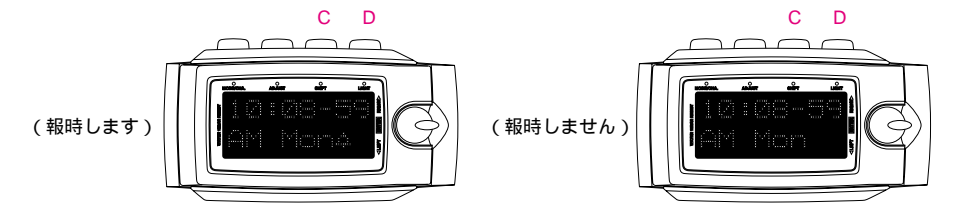
全点灯表示 =

カレンダーは、1998年~2047年までの年、月、日、曜がプログラムされていますので、この間の大小のゆるやうな年でも修正する必要はありません。

時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDを同時に押された状態です。その場合は、A B C D E いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。

(4) アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時ならびに操作確認音のセットと解除

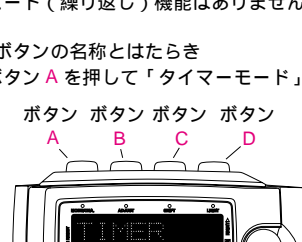
「時刻・カレンダーモード」でボタンCを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンCとDを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。



報時マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。

タイマーの使いかた

(1) ボタンの名称とはたらき



- ボタン操作説明
- ・ボタンA: タイムモードへの切り替え
 - ・ボタンB: フリータイマー時間修正状態の呼び出し/解除
 - ・ボタンC: リセット
 - ・ボタンD: 内部照明の点灯
 - ・ボタンE: スタート/ストップ
- タイマー時間の選択(初期値) 修正箇所の選択(フリータイマー) 修正箇所の合わせ(フリータイマー)

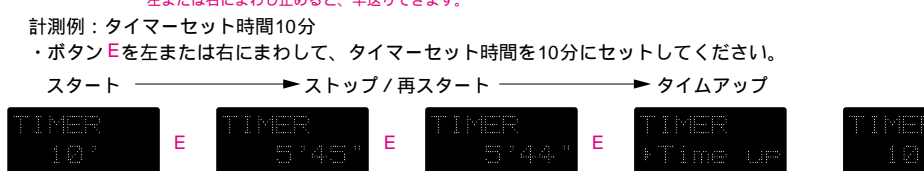
(2) プリセットタイマーの使いかた

ボタンEを左または右方向にまわすごとに、次のようにタイマー時間が替わります。

ボタンEを左または右にまわすと、タイマー時間を10分にセットしてください。

スタート → ストップ/再スタート → タイムアップ

途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴り、「Time up!」表示が2回スクロールします。鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、A B C D E いずれかの1つのボタンを押してください。



計測例: タイマーセット時間10分

ボタンEを左または右にまわすと、タイマーセット時間を10分にセットしてください。

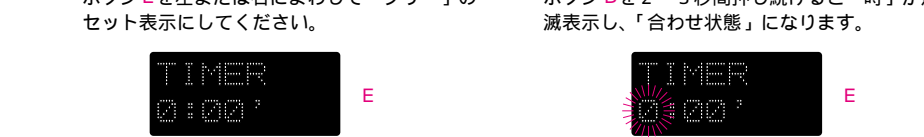
スタート → ストップ/再スタート → タイムアップ

(3) フリータイマーの合わせかた

フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。

例: 1時間30分にセットする場合

ボタンEを左または右にまわして「フリー」のセット表示にしてください。



ボタンEを押しますと押すたびに「時」と「分」が交互に点滅します。修正する箇所を選択してください。

合わせたいところを点滅させたら、ボタンEを左または右にまわして合わせます。

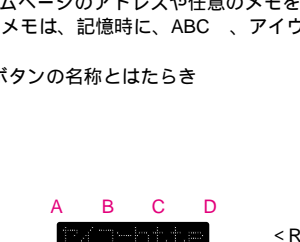
1回まわすごとに点滅している数字が1つずつ戻りまたは進みます。まわし止めると、早送ります。

セットが終わりましたらボタンBを押して「タイマーモード」にしてください。押し忘れた場合でも2~3分後には「タイマーモード」へ自動的にもどります。

セットされたフリータイマーのセット時間は、新たにセットしないかぎり消えませんが、

URLメモの使いかた

(1) ボタンの名称とはたらき

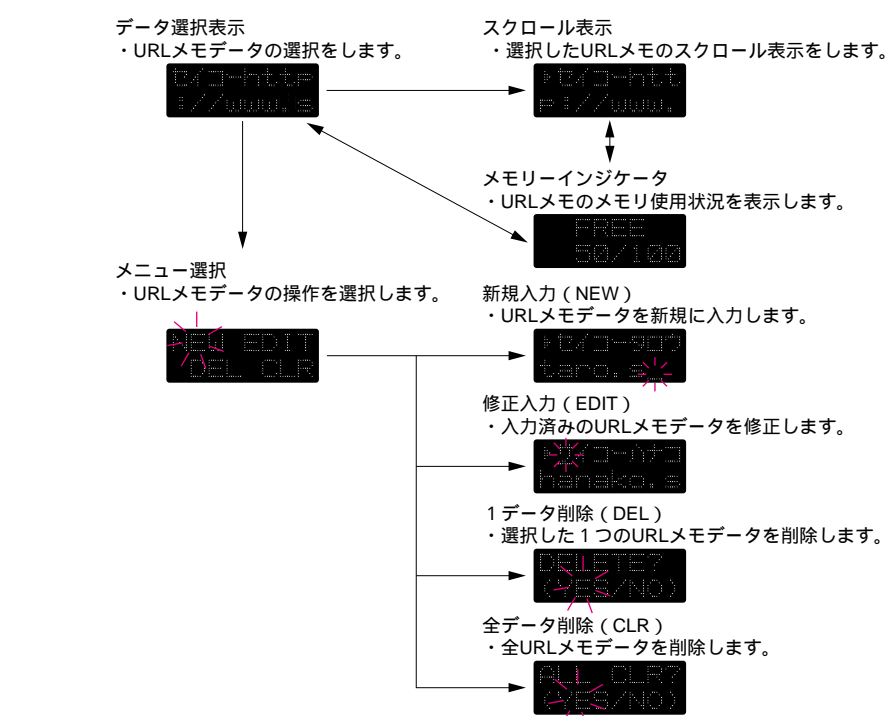


- ボタン操作説明
- ・ボタンA: URLメモモードへの切り替え
 - ・ボタンB: URLメモモードの切り替え
 - ・ボタンC: メニュー呼び出し/解除
 - ・ボタンD: URLメモセット
 - ・ボタンE: スクロール
- URLメモモードのメモリ使用状況を表示します。
- ボタン(C+A): 1文字挿入
- ボタン(C+P): 1文字削除
- ボタン(C+R): カーソル右送り
- ボタン(C+L): カーソル左送り

例) セイコーhttp://www.seiko-corp.co.jp

(2) URLメモモードにおける動作

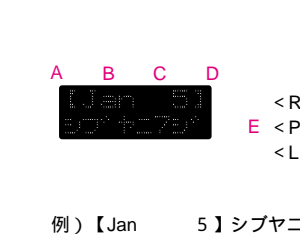
URLメモでは、下図のような動作を行います。



メッセージの使いかた

- ・メッセージは、10件まで記憶できます。
- ・メッセージは、日付と最大60文字の任意の文字列となっています。
- ・記憶されたメッセージは、その日付になると「時刻・カレンダー表示」状態においてフロントボタンを押すか、一定時間ごとにスクロール表示します。
- ・メッセージは、記憶時に、月日、ABC、アイウ、順に並び替えられます

(1) ボタンの名称とはたらき

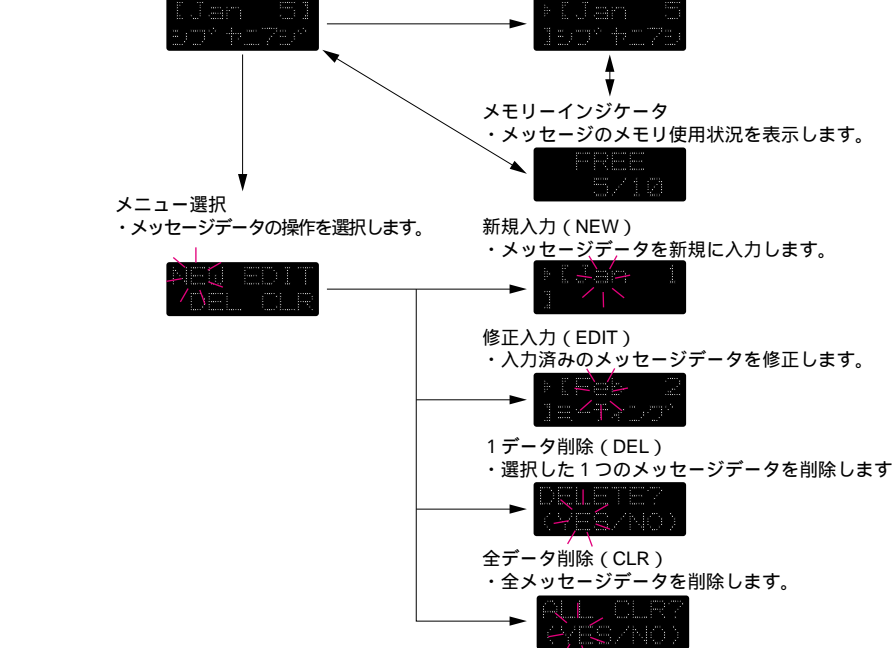


- ボタン操作説明
- ・ボタンA: メッセージモードへの切り替え
 - ・ボタンB: 文字種の切り替え
 - ・ボタンC: メニュー呼び出し/解除
 - ・ボタンD: メッセージセット
 - ・ボタンE: スクロール
- メッセージのメモリ使用状況を表示します。
- ボタン(C+A): 1文字挿入
- ボタン(C+P): 1文字削除
- ボタン(C+R): カーソル右送り
- ボタン(C+L): カーソル左送り

例) 【Jan 5】シブヤニ7ジ

(2) メッセージモードにおける動作

メッセージでは、下図のような動作を行います。



URLメモ(メッセージ)表示のしかた(データ選択表示とスクロール表示)

- ・URLメモ【メッセージ】表示は、URLメモ【メッセージ】データを選んで表示する仕方(データ選択表示)と指定のURLメモ【メッセージ】データをスクロール表示する仕方(スクロール表示)があります。

(1) データ選択表示

データ選択表示への切り替えは以下のようになります。

モード切り替えによりURLメモ【メッセージ】に切り替えるとき、URLメモ【メッセージ】のスクロール表示でボタンEまたはボタンBを押したとき、URLメモ【メッセージ】のデータ選択表示からボタンCでメモリーインジケータに切り替え、そのメモリーインジケータでボタンB/C/E操作があったとき、またはオートリターンしたとき。

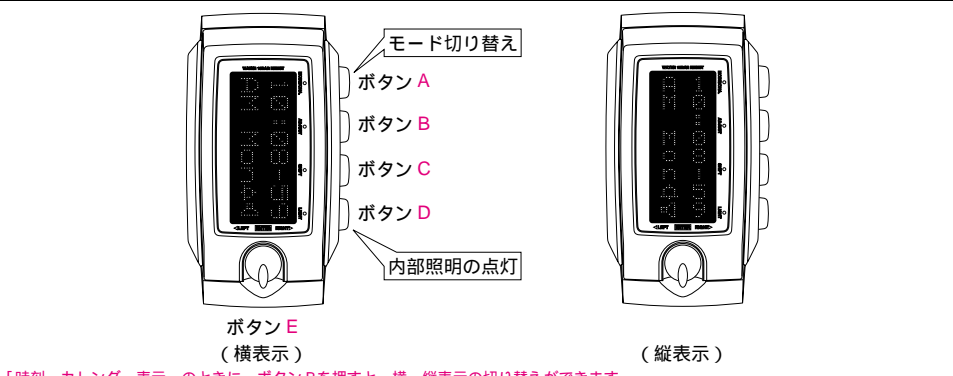
データ選択表示におけるURLメモ【メッセージ】データの表示動作は以下のようになります。

複数のURLメモ【メッセージ】データがある場合、ボタンEの右/左まわしによりURLメモ【メッセージ】データをそれぞれ順送りまたは逆送り表示します。

尚、最初のデータと最後のデータいずれでも、ボタンEの左/右まわしによる逆送りまたは順送りが可能で、それぞれ最後のデータまたは最初のデータに切り替わります。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことによる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ボタンの名称とモードの切り替え



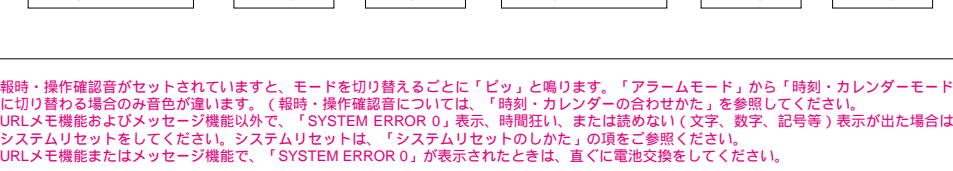
「時刻・カレンダー表示」のときに、ボタンBを押すと、横/縦表示の切り替えができます。ボタンEの操作は以下の通りおこなってください。

ボタンEの操作は、押ししたり、左/右方向にまわしたりできます。この取扱説明書では、左方向(LEFT)は、左にまわす。右方向(RIGHT)は、右にまわす。と説明します。

止まる位置 止まる位置

注意: ボタンEに強い衝撃を加えないでください。

ボタンAを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。



報時・操作確認音がセットされています。モードを切り替えるときに「ピッ」と鳴ります。「アラームモード」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わる場合のみ音が出ません。(報時・操作確認音については、「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。)

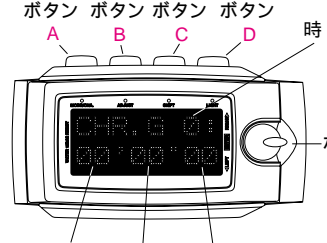
URLメモ機能およびメッセージ機能以外で、「SYSTEM ERROR 0」表示、時間狂い、または読み取れない文字、数字、記号等が表示された場合は、システムリセットをしてください。システムリセットは、「システムリセットのしかた」の項をご参照ください。URLメモ機能またはメッセージ機能で、「SYSTEM ERROR 0」が表示されたときは、直ぐに電池交換をしてください。

ストップウォッチの使いかた

- ・1/100単位で計測します。
- ・最大計測時間は、9時間59分59秒99です。(10時間を越えた場合、10時間以上の桁を無視して計測を続けます。ただしボタン無操作で100時間を超えたらリセット状態になります。)

(1) ボタンの名称とはたらき

ボタンAを押して「ストップウォッチモード」にしてください。



- ボタン操作説明
- ・ボタンA: ストップウォッチへの切り替え
 - ・ボタンB: 作動しませんが、リセット
 - ・ボタンC: スプリット/リセット
 - ・ボタンD: 内部照明の点灯
 - ・ボタンE: スタート/ストップ

(2) 普通の使いかた

例: 100メートル競争(ボタンを押す順序: E E C)

スタート → (ゴール) ストップ → リセット

例: 9秒86 00秒にもどります。



(3) 時間計測を積算でおこなう場合

例: バスケットボール(ボタンを押す順序: E E E ... E C)

〔競技開始〕スタート → (競技中断) ストップ → (競技再開) 再スタート → (競技終了) ストップ → (リセット) C

例(スプリットタイム): 1分50秒45 20分00秒00

途中のストップ/再スタートは、何回でも繰り返すことができます。



(4) スプリット計測をおこなう場合

例: 10,000メートル競争(ボタンを押す順序: E C C ... E C)

スタート → スプリット → ラン... → ストップ → リセット

例(スプリットタイム): 3分10秒77 6分35秒10 31分40秒95

途中のスプリット・スプリット解除は、何回でも繰り返すことができます。

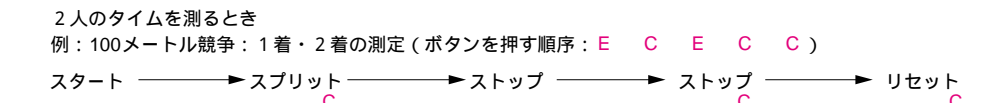


2人のタイムを測るとき

例: 100メートル競争: 1着・2着の測定(ボタンを押す順序: E C E C C)

スタート → スプリット → ストップ → ストップ → リセット

例(スプリットタイム): 1着: 10秒98 2着: 13秒45



アラームの使いかた

- ・設定した時刻(時、分)で毎日報知する1チャンネルのデイレアラームと、設定した時刻で1回のみ報知する3チャンネルのシングルアラーム機能付です。
- ・各チャンネルは、アラームのON/OFF(セット/解除)切り替えができます。

(1) ボタンの名称とはたらき

ボタンAを押して「アラームモード」にしてください。



- ボタン操作説明
- ・ボタンA: アラームモードへの切り替え
 - ・ボタンB: アラーム時刻修正状態の呼び出し/解除
 - ・ボタンC: アラームセット/解除(ON/OFF)
 - ・ボタンD: 内部照明の点灯
 - ・ボタンE: アラームチャンネルの選択
- アラームセット/解除(ON/OFF) アラーム時刻の修正箇所の選択 アラーム時刻の修正箇所の合わせ

アラームセット時刻

例: 午前12時00分

デイレアラーム: 毎日1日1回設定時刻にアラームが鳴る機能(24時間制)

例: AL-D(デイレアラーム)でセットしたときの報知表示(時計モード)

シングルアラーム: アラームが鳴り終わると、そのセット時刻が自動的に解除される機能

例: AL-1~3(シングルアラーム)でセットしたときの報知表示(時計モード)

例: AL-1(デイレアラーム)で設定時刻にアラームが鳴ると、そのセット時刻が自動的に解除される機能

例: AL-1~3(シングルアラーム)で設定時刻にアラームが鳴ると、そのセット時刻が自動的に解除される機能

(2) アラームの使いかた

例: 「AL-1」のところで、アラーム時刻を「AM6時30分」にセットするとき

ボタンBを2~3秒押し続けるとONまたはOFF表示が消え「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。

セットが終わりましたらボタンBを押して「アラームモード」にもどしてください。「ON」表示が点灯します。押し忘れた場合でも、2~3分後には「アラームモード」へもどります。

合わせたいところを点滅させたら、ボタンEを左または右に1回まわすごとに点滅している数字が1つずつ戻りまたは進みます。

セットが終わりましたらボタンBを押して「アラームモード」にもどしてください。「ON」表示が点灯します。押し忘れた場合でも、2~3分後には「アラームモード」へもどります。

(3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合

「アラームモード」でボタンCまたは、ボタンEを押すごとにセット(ON)と解除(OFF)ができます。(アラームが鳴りません。)

(アラームが鳴ります。)

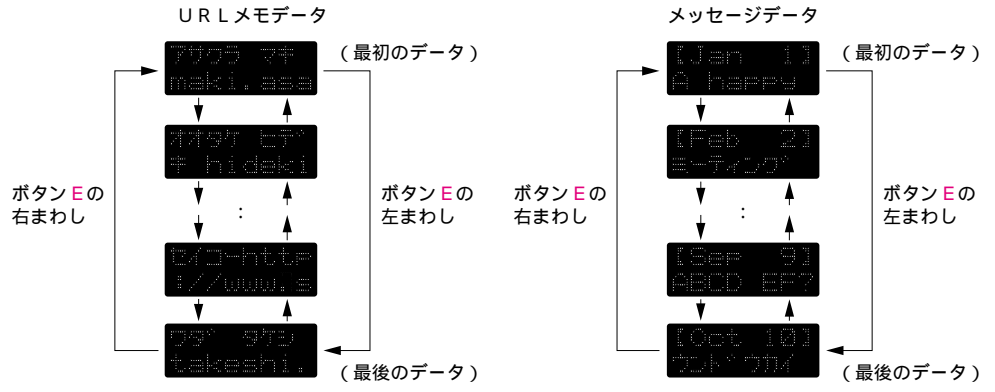
(4) 鳴っているアラームを止めるには

アラームは、セットした時間になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時はボタンA B C D E いずれかのボタンを押してください。

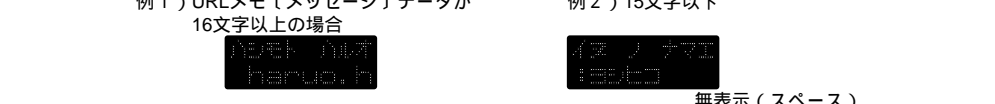


アラームは、セットした時間になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時はボタンA B C D E いずれかのボタンを押してください。



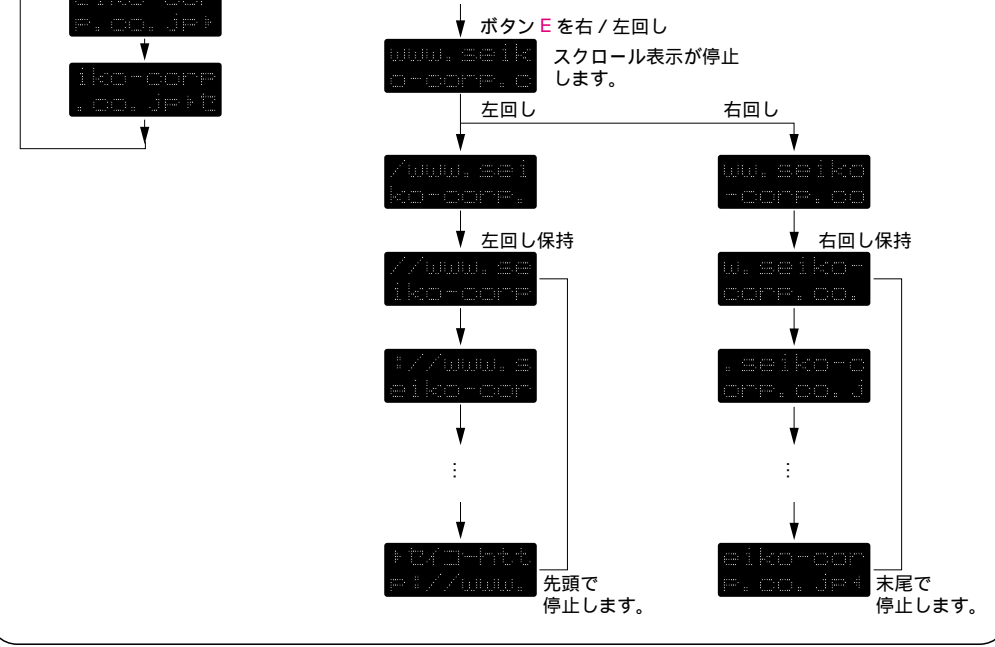
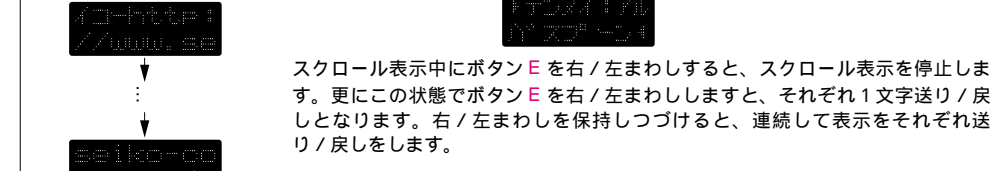
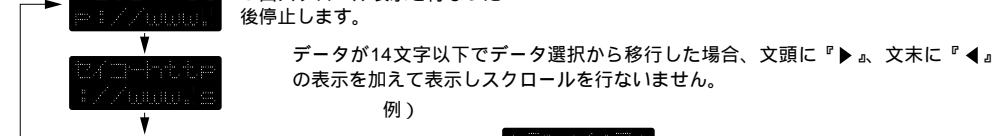
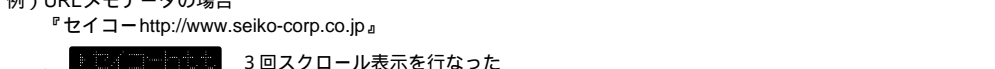


データ先頭部16文字のみを表示します。URLメモデータ〔メッセージ〕が15文字以下の場合にはスペースを加えて表示します。



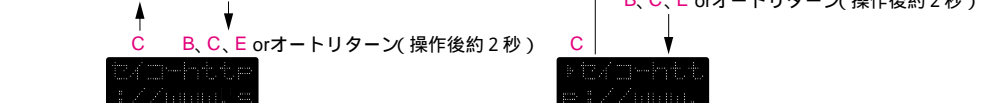
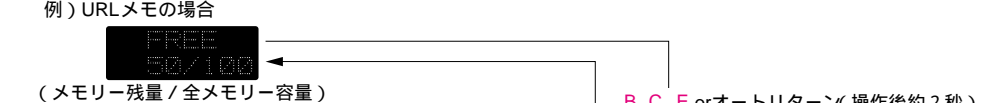
(2) スクロール表示

スクロール表示への切り替えは以下のようになります。URLメモ〔メッセージ〕のデータ選択表示でボタンEを押したとき、URLメモ〔メッセージ〕のスクロール表示からボタンCでメモリーインジケータに切り替え、そのメモリーインジケータでボタンB/C/Eの操作があった場合、またはオートリターンしたとき、スクロール表示ではデータ選択表示で選ばれたURLメモ〔メッセージ〕についてスクロール表示をします。URLメモ〔メッセージ〕データが15文字以上でデータ選択から移行した場合、スクロール表示を3回行ない停止します。



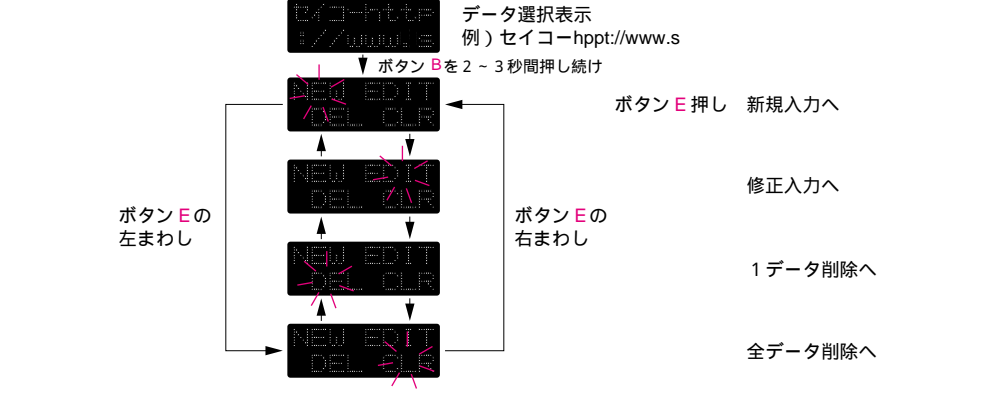
URLメモ〔メッセージ〕のメモリー残量表示のしかた(メモリーインジケータ)

データ選択表示またはスクロール表示でボタンCを押すとURLメモ〔メッセージ〕のメモリー残量を表示します。メモリー残量表示は、メモリー残量(件)/全メモリー容量(URLメモ=100件・メッセージ=10件)で示されます。このメモリーインジケータは、ボタンCによる切り替えから2秒後に切り替え前のデータ選択表示またはスクロール表示にオートリターンします。メモリーインジケータでのボタンB/C/E操作によっても切り替え前のデータ選択表示またはスクロール表示に戻ります。



URLメモ〔メッセージ〕データの新規入力 / 修正入力 / 1データ削除 / 全データ削除機能の切り替え(メニュー選択)

データ選択表示でボタンBを2~3秒間押し続けると、メニュー選択に切り替わります。ボタンEを右/左まわしてNEW(新規入力) / EDIT(修正入力) / DEL(1データ削除) / CLR(全データ削除)と切り替わります。操作したい機能が点滅したらボタンEを押すとその機能に切り替わります。



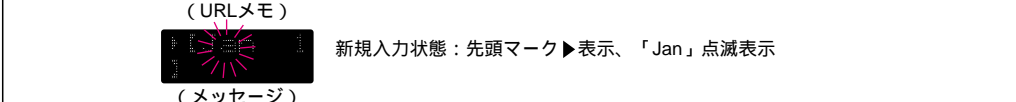
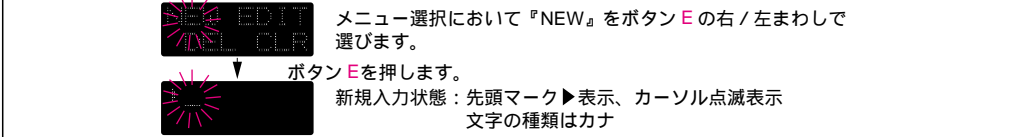
データ選択表示でボタンBを押したときに電池電圧が低い場合は『BATTERY LOW!』を表示した後、データ選択表示に戻ります。通常使用状態でこの表示がされたとき、電池容量切れが考えられますので電池交換をしてみてください。



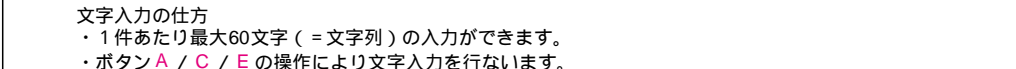
(1) URLメモ〔メッセージ〕の新規入力のしかた『NEW』

メニュー選択で、ボタンEの右/左まわして『NEW』を選び、ボタンEを押すと新規入力状態に切り替わります。

文字の先頭マーク▶の表示がされ、カーソルが点滅表示されます。

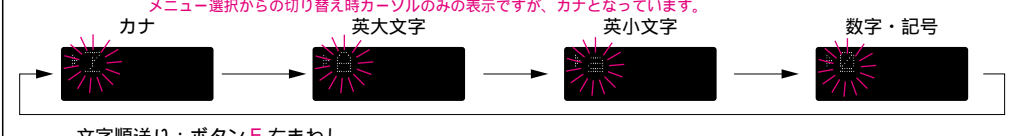


URL〔メッセージ〕用メモリーの空きがない場合、『MEMORY FULL!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。



文字入力の仕方

- 1件あたり最大60文字(=文字列)の入力ができます。
- ボタンA/C/Eの操作により文字入力を行ないます。これらのボタン操作で次の動作をします。文字の種類切り替え：ボタンA



文字順送り：ボタンE右まわし

右にまわし続けると、現在選んである文字種で文字を連続的に順送ります。



文字逆送り：ボタンE左まわし

左にまわし続けると、現在選んである文字種で文字を連続的に逆送ります。



文字確定 / カーソル順送り：ボタンE押し

ボタンEを押して、カーソルで定められた文字が確定し1文字分カーソルが送られます。60文字目の位置でボタンE押しは無効となり、カーソルは移動せず表示された文字が入力されたものとします。押し続けると、カーソルを連続して順送ります(60文字目の位置で停止します)。



スペース挿入：ボタンCを押しながらボタンAを押します。

60文字目の位置での操作は無効となります。押し続けて、連続してスペースが挿入されます(文字列が60文字となるまで可能です)。



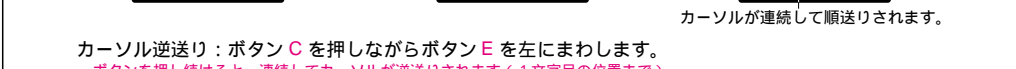
1文字削除：ボタンCを押しながらボタンEを押します。

ボタンE押し続けると連続して文字が削除されます。カーソル以降に文字がなくなるまで削除が可能です。



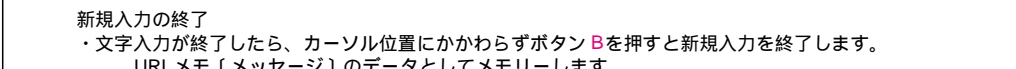
カーソル順送り：ボタンCを押しながらボタンEを右にまわします。

60文字目の位置でのこの操作は無効となります。押し続けて、カーソルを連続して順送ります(60文字目の位置で停止します)。



カーソル逆送り：ボタンCを押しながらボタンEを左にまわします。

ボタンE押し続けると、連続してカーソルが逆送りされます(1文字目の位置まで)。



新規入力の終了

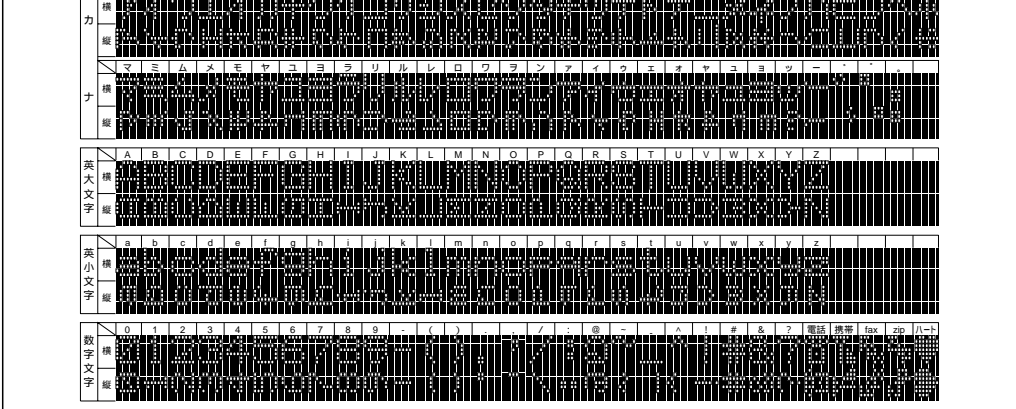
- 文字入力終了したら、カーソル位置にかかわらずボタンBを押すと新規入力を終了します。URLメモ〔メッセージ〕のデータとしてメモリーします。但し入力文字列がないときは、メモリーは行わずデータ選択表示に戻ります。文字列先頭及び末尾のスペースは、自動的に削除されます。

電池電圧が低いとき、『BATTERY LOW!』を表示し入力文字列をメモリーしません。(不揮発性メモリーに書き込みができないためです。)

文字入力状態で2~3分ボタン無操作で放置された場合、データ選択表示に戻ります。この際入力されていた文字列はメモリーされません。

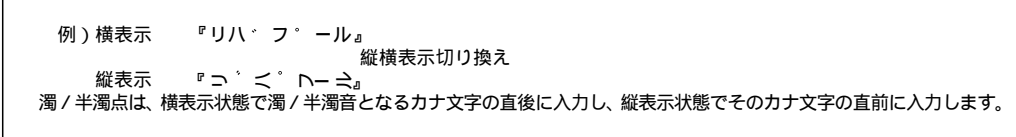
文字その種類

- URLメモ〔メッセージ〕で入力できる文字は以下のようになります。



縦横表示切り換えに伴う濁点・半濁点の扱い

横表示で濁 / 半濁音となるカナ文字の後に濁 / 半濁点がついた場合、または縦表示状態でその濁 / 半濁音となるカナ文字の前に濁 / 半濁点がついた場合、縦横表示状態を切り換えるとそのカナ文字と濁 / 半濁点を入れ換えて表示します。



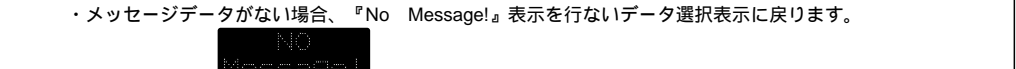
(2) URLメモ〔メッセージ〕の修正入力のしかた『EDIT』

データ選択で修正したいURLメモ〔メッセージ〕をボタンEの右/左まわしにより表示させます。ボタンBを2~3秒間押し続けてメニュー選択に切り替え、更にボタンEの右/左まわして『EDIT』を選び、ボタンEを押すと修正入力状態に切り替わります。

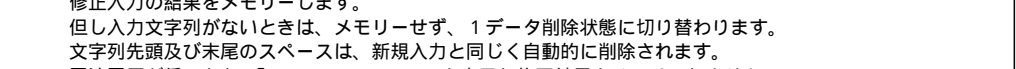
文字の先頭マーク▶とともに修正したいURLメモ〔メッセージ〕が表示されます。



URLメモデータがない場合、『No Memo!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。



メッセージデータがない場合、『No Message!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。



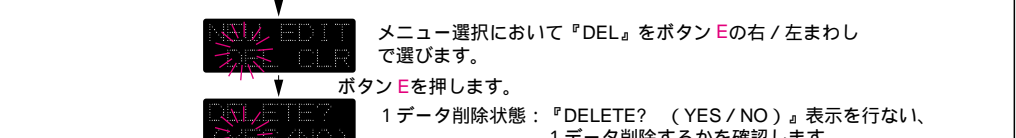
文字修正は新規入力の文字入力と同操作により行なえます。修正入力の終了

- 修正入力が終了したら、カーソル位置にかかわらずボタンBを押すと修正入力を終了します。修正入力の結果をメモリーします。但し入力文字列がないときは、メモリーせず、1データ削除状態に切り替わります。文字列先頭及び末尾のスペースは、新規入力と同じく自動的に削除されます。電池電圧が低いとき、『BATTERY LOW!』を表示し修正結果をメモリーしません。(不揮発性メモリーに書き込みができないためです。)

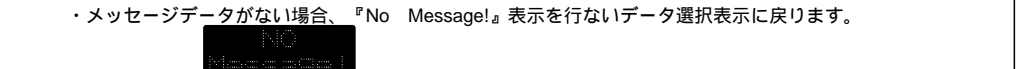
文字入力状態で2~3分ボタン無操作で放置された場合、データ選択表示に戻ります。この際修正入力の結果はメモリーに反映されません。

(3) URLメモ〔メッセージ〕の1データ削除のしかた『DEL』

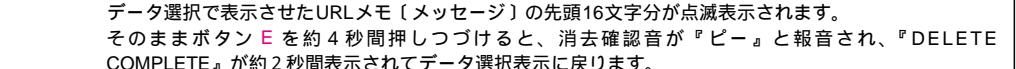
データ選択で削除したいURLメモ〔メッセージ〕をボタンEの右/左まわしにより表示させます。ボタンBを2~3秒間押し続けてメニュー選択に切り替え、更にボタンEの右/左まわして『DEL』を選び、ボタンEを押すと1データ削除状態に切り替わります。



URLメモデータがない場合、『No Memo!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。



メッセージデータがない場合、『No Message!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。

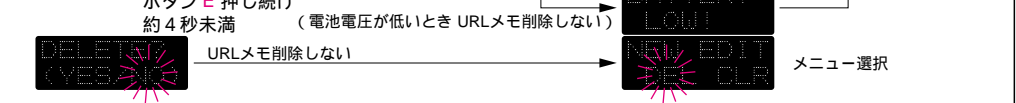


データ選択で表示させたURLメモ〔メッセージ〕を削除するかどうか、ボタンEを右/左まわしによりYES/NOを選び、ボタンEを押します。

- YESを選んだ場合

データ選択で表示させたURLメモ〔メッセージ〕の先頭16文字分が点滅表示されます。そのままボタンEを約4秒間押しつづけると、消去確認音が『ピー』と報音され、『DELETE COMPLETE』が約2秒間表示されてデータ選択表示に戻ります。ボタンEを押しつづけて約4秒経過し電池電圧が低い場合は、『BATTERY LOW!』を表示してURLメモ〔メッセージ〕削除は行なわず、データ選択表示に戻ります。ボタンEが約4秒以上押し続けられなかったときは、『DELETE? (YES/NO)』表示に戻ります。

- NOを選んだ場合はメニュー選択へ戻ります。

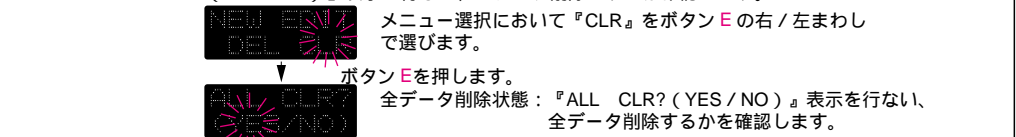


ボタンBを押したとき、YES/NOのいずれを選んであっても、URLメモ〔メッセージ〕の削除は行なわず直ちにデータ選択表示に戻ります。

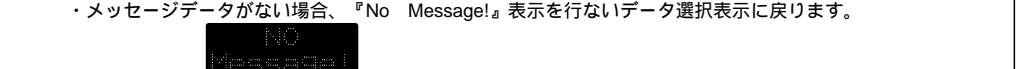
(4) URLメモ〔メッセージ〕の全データ削除のしかた

メニュー選択で、ボタンEの右/左まわして『CLR』を選び、ボタンEを押すと全データ削除状態に切り替わります。

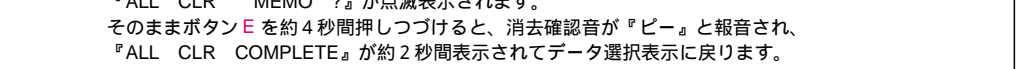
- 『ALL CLR? (YES/NO)』表示を行ない、全データ削除するかを確認します。



URLメモデータがない場合、『No Memo!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。



メッセージデータがない場合、『No Message!』表示を行ないデータ選択表示に戻ります。

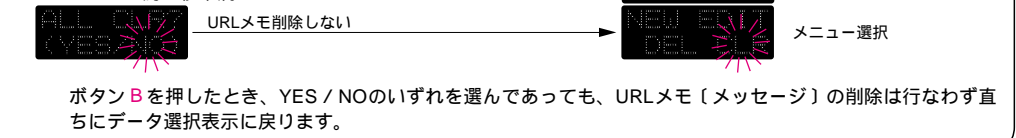


全URLメモ〔メッセージ〕を削除するかどうか、ボタンEを右/左まわしによりYES/NOを選び、ボタンEを押します。

- YESを選んだ場合

『ALL CLR MEMO ?』が点滅表示されます。そのままボタンEを約4秒間押しつづけると、消去確認音が『ピー』と報音され、『ALL CLR COMPLETE』が約2秒間表示されてデータ選択表示に戻ります。ボタンEを押しつづけて約4秒経過し電池電圧が低い場合は、『BATTERY LOW!』を表示して全URLメモ削除は行なわず、データ選択表示に戻ります。ボタンEが約4秒以上押し続けられなかったときは、『ALL CLR? (YES/NO)』表示に戻ります。

- NOを選んだ場合はメニュー選択へ戻ります。



ボタンBを押したとき、YES/NOのいずれを選んであっても、URLメモ〔メッセージ〕の削除は行なわず直ちにデータ選択表示に戻ります。